

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

師走を迎え日増しに寒さが厳しくなってきましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年一年を振り返ってみますと、トランプ氏のアメリカ大統領就任によって世界情勢が大きく変化し、国内においては衆議院議員選挙を経ても安倍一強体制に変化は無く、逆に勢力拡大を目指していた野党は、民進党の事実上分裂により新たな政党の乱立となるなど、政治面では大きな出来事の多い一年でありました。

また、経済面においては指標上では緩やかな回復基調を維持した一年であったものの、実態を伴っていないとの意見が大半を占め、必ずしも順調であったとは言い難い一年でありましたが、来年は2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、インフラ建設などの需要の盛り上がりが見込まれることから、大きく経済発展するのではとの予測もされています。

しかしながら、日本全体では既に人口減少社会に突入し、あらゆる分野で人手不足に陥り、自然増・社会増の両面で人口増加を辛うじて維持する我が県でも、特に中小企業や医療福祉分野を中心に、人手確保が最大の経営課題とのご意見を多方面より頂戴しております。

従いまして、先ずは人口減少に歯止めを掛けるべく、少子高齢化対策の充実を図ると共に、人手確保も含めたモノづくり産業の更なる支援、そして2019年のラグビーワールドカップ・2026年のアジア競技大会・更には2027年のリニア中央新幹線開業を活かした新たな街づくりを目指してまいります。

最後に、本年中は大変お世話になりました事に感謝申し上げますと共に、来る年が皆様にとって幸多き年となるようご祈念申しあげ、年末の挨拶に代えさせていただきます。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和

